

神崎町総合計画後期基本計画・神崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定しました。

神崎町では、平成23年3月に、新たなまちづくりの総合的な指針といたしまして、平成32年を目標とする「第4次神崎町総合計画」を策定し、目指す町の将来像「発酵の里・健康笑顔のまち こうざき」実現に向け、まちづくりを進めています。

これまで、子育て支援の充実や圏央道神崎ICや国道356号バイパスなどの整備により、首都圏へのアクセスが容易となり、これにあわせて「道の駅 発酵の里こうざき」を開設するなど町の活性化を進めたきた施策の方針や取り組み内容を再検討・再構築し、計画期間を5年間（平成28年度～平成32年度）とする「神崎町第4次総合計画後期基本計画」を策定しました。

また、人口減少時代に突入した日本において、地域の特性を活かし、まちづくり・ひとづくり・しごとづくりへの具体的な取り組み、地方への人の流れをつくる計画として「神崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（計画年次26年度～31年度）を策定し、「神崎町に住みたい・住み続けたい」と思える施策を進めていきます。



神崎町第4次総合計画基本構想 町の将来像
発酵の里・健康笑顔のまち こうざき
—みんなで創る 健康・安心・子育て応援のまち—



神崎町第4次総合計画後期基本計画

8つの施策目標

①町の活力を生み出す健康産業づくり ②交流と定住を支える生活基盤づくり ③教育・子育て応援のまちづくり
④一人ひとりが輝く生涯学習・スポーツのまちづくり ⑤生涯安心の人にやさしい健康・福祉のまちづくり ⑥安全で緑豊かな生活環境づくり ⑦みんなの絆で取り組む住民主導のまちづくり ⑧協働のまちづくりと開かれた自治体経営

神崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略

町の特性に即したまち・ひと・しごとの創生と好循環を促進するために、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。この計画は「神崎町第4次総合計画」のうち、産業振興や子育て支援など、町の人口減少対策にかかる施策についての具体的な展開方法を示す実施計画（アクションプラン）と位置づけられるものです。

また、実施した施策について、産業界・教育機関・金融機関など外部有識者で組織された「神崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」において検証・評価され、戦略の見直し提言が行なわれます。

○総合戦略の概要 4つの基本目標と取り組み○

基本目標	施策
人々が新たに集う“まち”を醸す。	①移住・定住の支援 ●空き家バンク・空き家改修助成事業 ●移住・定住者応援事業
	②観光の振興 ●発酵の里こうざきブランド力向上事業 ●発酵の里こうざき知名度アップ・プロモーション事業
	③自治体連携の推進 ●自治体連携強化事業 ●利根川舟運連携事業
若い世代の夢かなう“未来”を醸す。	①出会い・結婚支援の充実 ●婚活支援事業
	②子育て支援の充実 ●子育て世帯応援事業
	③未来をつくる教育・文化・スポーツの推進 ●特徴ある教育環境充実事業 ●一人ひとりが輝く生涯学習・文化振興事業
	④若者定住支援の充実 ●若者定住支援促進事業
“しごと”を醸す。	①農業の振興 ●新規就農支援事業 ●担い手支援事業
	②商工業の振興 ●中小企業支援事業 ●企業誘致事業
安全・安心に暮らす“未来”を醸す。	①小さな拠点づくりの推進 ●道の駅地域拠点機能強化事業 ●神崎IC周辺整備事業 ●防災拠点整備・機能強化事業
	②防災体制の充実 ●消防・防災体制強化事業 ●木造住宅耐震診断・補強工事助成事業
	③道路・公共交通体系の充実 ●道路・公共交通充実事業 ●循環バス運行事業
	④健康増進事業の推進 ●生涯安心の人にやさしい健康・福祉のまちづくり